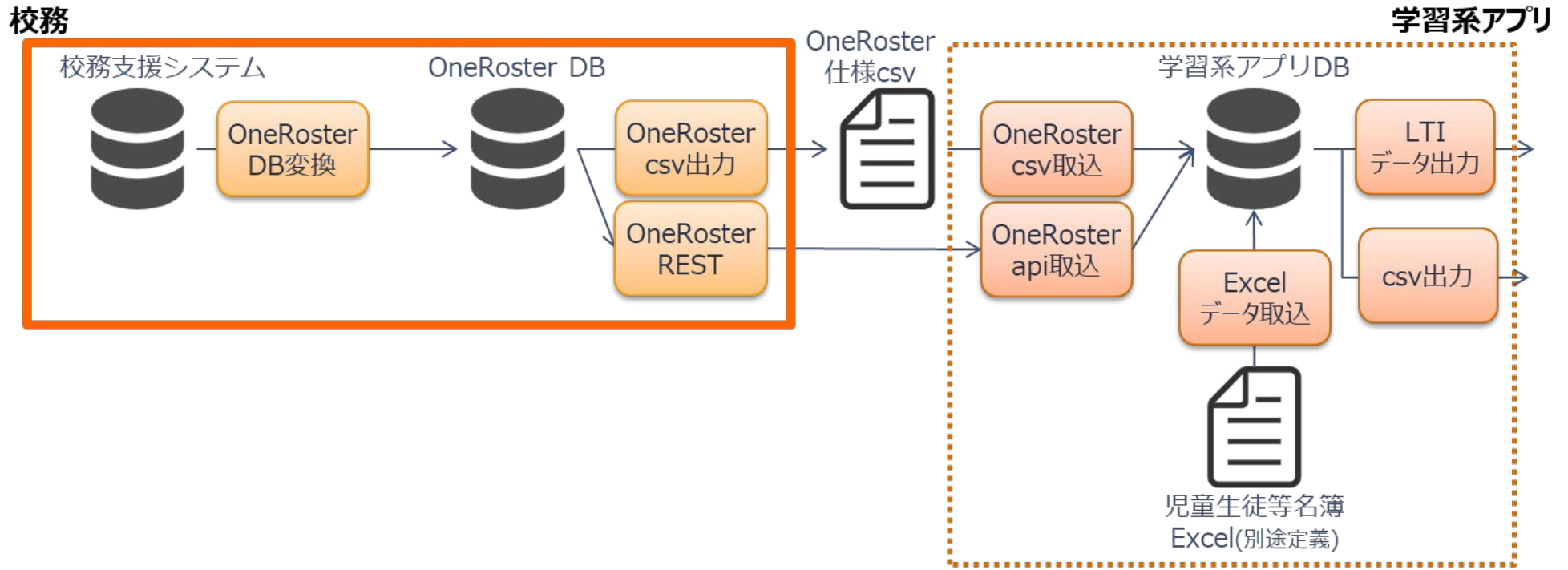
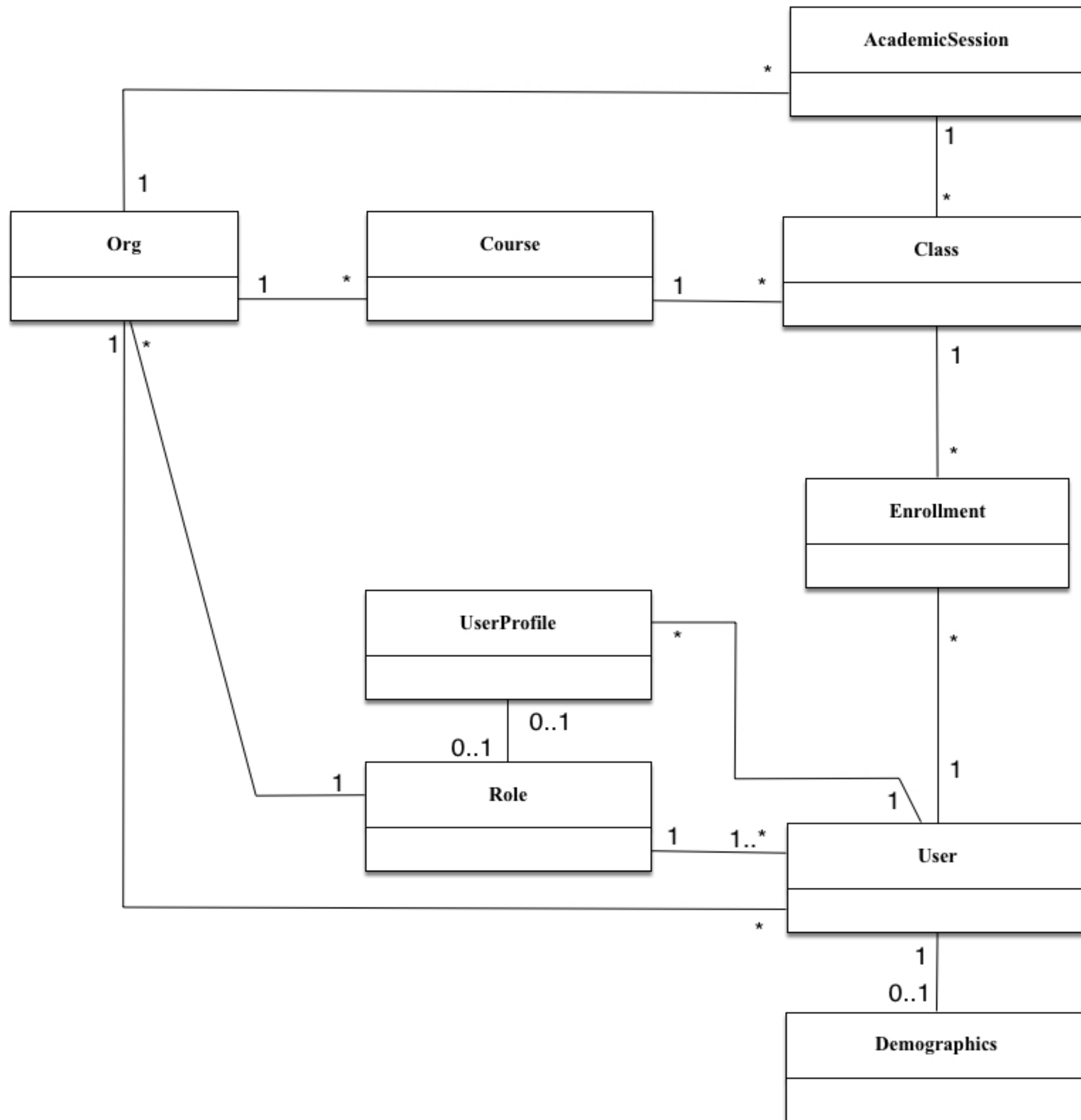


## 改訂履歴

#	改訂日	バージョン	シート	改訂内容
1	2022/7/12	0.1		初版
2	2022/9/26	0.2	(全般)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ その他事項のシートを追加</li><li>・ mafiest.userprofileの想定値を変更</li><li>・ AcademicSession.parentの記載を削除</li><li>・ (全般) 「空文字指定」の記述を削除</li><li>・ Class.titleの想定値を追記</li><li>・ Class.subjectCodeに義務教育学校、中等教育学校等に関する注釈を追加</li><li>・ Enrollment.rolesにadministratorに関する注釈を追加</li><li>・ Enrollment.rolesの学年コードに関する注釈を追加</li><li>・ Enrollment.syussekiNoの職員番号に関するルールを変更</li></ul>
3	2022/9/28	1		公開初版
4	2022/11/24	1.1		OneRoster v.1.2 最終公開版に合わせて仕様を見直し。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ シートの名称をCSVの定義に合わせる (User -&gt; Usersなど)</li><li>・ manifestの想定値の一部を変更。必須、想定値に関する補足を追記。</li><li>・ Classesのデータモデルの多重度を修正。学年コードの参照先を変更。</li><li>・ Enrollmentsのroleの種類を修正。</li><li>・ Orgsに教育委員会に関する記載を追加。</li><li>・ Rolesのroleの種類を修正。</li><li>・ Usersにpronounsを追加、Roles、UserProfilesの補足を追記。</li><li>・ テーブルのフォーマットを変更。</li><li>・ 更新箇所を黄色、Japan Profileで追加している箇所を青色で表記。</li></ul>
5	2022/12/7	1.1.1		以下の項目を修正。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ Classesのgradeの記述を修正。</li></ul>

■ 想定システム構成例





## manifest.csv

(補足) 必須はmanifest.csvに記載が必須であるものを示す。(Japan ProfileでこのCSVファイルの出力が必須である、ということではない。)

想定値はJapan Profileで入出力されることが期待される項目 (CSV Bulk Modeのコンフォーマンステストで必須のファイルに[bulk]を記載。必ずしもこれに準じなくてもよい。)

属性名	必須		想定値	備考
manifest.version	○	String	1.0	マニフェスト形式のバージョン。現時点では1.0
oneroster.version	○	String	1.2	OneRosterのバージョン
file.academicSessions	○	Enumeration	bulk	absent(ファイル無し)、bulk、deltaのいずれか。
file.categories	○	Enumeration	absent	同上
file.classes	○	Enumeration	bulk	同上
file.classResources	○	Enumeration	absent	同上
file.courses	○	Enumeration	bulk	同上
file.courseResources	○	Enumeration	absent	同上
file.demographics	○	Enumeration	absent	同上
file.enrollments	○	Enumeration	bulk	同上
file.lineItemLearningObjectiveIds	○	Enumeration	absent	同上
file.lineItems	○	Enumeration	absent	同上
file.lineItemScoreScales	○	Enumeration	absent	同上
file.orgs	○	Enumeration	bulk	同上
file.resources	○	Enumeration	absent	同上
file.resultLearningObjectiveIds	○	Enumeration	absent	同上
file.results	○	Enumeration	absent	同上
file.resultScoreScales	○	Enumeration	absent	同上
file.roles	○	Enumeration	bulk	同上
file.scoreScales	○	Enumeration	absent	同上
file.userProfiles	○	Enumeration	absent	同上
file.userResources	○	Enumeration	absent	同上
file.users	○	Enumeration	bulk	同上
source.systemName		String	例) digitalkoumu.uchidayoko.co.jp	CSVエクスポート側のシステムのシステム名
source.systemCode		String	-	CSVエクスポート側のシステムのIDコード

## 全般に関するとりまとめ

### その他・全般に関するとりまとめ事項

#### 文字セットコードについて

- ・ 取り扱う日本語文字集合の範囲：JIS X 0213
- ・ 文字コード：ISO/IEC 10646
- ・ 文字の符号化形式：UTF-8（BOMなし）

#### 各項目（オブジェクト）のsourcedIDについて

sourcedID（UUID）のスコープは、一回のCSVファイル（トランザクション内）の出力範囲において一意を保證することを要件とする。（sourcedIDの永続性は任意とする）

#### ユーザーを一意にする識別子

Users.userMasterIdentifierを予約する。例えば、校務システムより一意の識別子が出力されることが想定される。その場合、受信側はそれをユーザー一意の識別子として取り扱わなければならない。

academicSessions.csv

No	OneRoster v.1.2 データモデル 定義				OneRoster v.1.2 csv項目定義			
	データ属性名	和訳案	多重度	備考	日本語項目名	項目名	必須	備考
1	sourcedId	ソースID	1	(GUID)	ソースID	sourcedId	○	GUIDで自動採番
2	status	ステータス	0か1	active tobedeleted * Delta方式サポート時のみ必須	ステータス	status	*	Delta(差分)方式で出力する場合のみ出力 「tobedeleted」: 削除対象 例) 過去年度の場合 「active」: 有効 例) 現年度の場合
3	dateLastModified	最終更新日	0か1	最終更新日(ISO8601形式/UTC) 例:2018-04-23T18:25:43.511Z * Delta方式サポート時のみ必須	更新日時	dateLastModified	*	Delta(差分)方式で出力する際に条件にする日時 例) 年度情報に関しては、データ連携処理の最終実行日時 例) csvが出力された日時
4	title	期間名	1		期間名	title	○	連携処理実行時の対象年度西暦4桁+「年度」を設定
5	type	種別	1	term / grading period / semester / schoolYear	期間種別	type	○	固定: 「schoolYear」(年度データのみを扱う)
6	startDate	開始日	1	ISO8601形式 (YYYY-MM-DD)	開始日	startDate	○	固定: 対象年度の開始日 例: 2020-04-01
7	endDate	終了日	1	ISO8601形式 (YYYY-MM-DD)	終了日	endDate	○	固定: 対象年度の終了日 例: 2021-03-31
8	parent	親期間	0か1	親の sourcedId	親期間	parentSourcedId		
9	schoolYear	年度	1	ISO8601形式 (YYYY)	年度	schoolYear	○	固定: 連携処理実行対象年度 (西暦) を設定

classes.csv

No	OneRoster v.1.2 データモデル 定義				OneRoster v.1.2 csv項目定義			
	データ属性名	和訳案	多重度	備考	日本語項目名	項目名	必須	備考
1	sourcedId	ソースID	1	(GUID)	ソースID	sourcedId	○	GUIDで自動採番
2	status	ステータス	0か1	active tobedeleted * Delta方式サポート時のみ必須	ステータス	status	*	Delta(差分)方式で出力する場合のみ出力 「tobedeleted」: 削除対象 例) 過去年度または削除済のデータの場合 「active」: 有効 例) 上記以外の場合
3	dateLastModified	最終更新日	0か1	最終更新日(ISO8601形式/UTC) 例:2018-04-23T18:25:43.511Z * Delta方式サポート時のみ必須	更新日時	dateLastModified	*	Delta(差分)方式で出力する際に条件にする日時 例) 校務支援システム上でクラス情報等のデータが更新された最終更新日時 例) csvが出力された日時
4	title	クラス名	1	例: 化学	クラス名	title	○	クラス名 例) 1年1組、特別支援学級「あおぞら組」等の正式名称を想定
5	grades	学年	0~多	地域に応じたコードを使用	学年	grades		APPLICで定義されたコード「学年」(シート「Course」参照) ※ 義務教育学校、中等教育学校等には、小中学校、高等学校の学年コードを用いる。
6	course	コース	1	コースID	コースSourcedId	courseSourcedId	○	対象団体×対象年度の【Course.SourcedId】
7	classCode	クラスコード	0か1	例: Chem101-Mr Rogers	クラスコード	classCode		空文字("")でも構わないが、校務支援システム内でクラスを識別するコードを保持している場合は、出力することが望ましい。 例) 1年1組、1年A組ともに、0101等共通のコードに置き換える等
8	classType	クラス種別	0か1	“homeroom” もしくは “scheduled”	クラス種別	classType	○	「homeroom」: 学籍クラスの場合 「scheduled」: 習熟度別等、授業の単位や、クラブ・委員会情報の場合
9	location	開講場所	0か1	例: 19番教室	開講場所	location		
10	school	学校	1	学校の組織ID	学校SourcedId	schoolSourcedId	○	対象団体の【Org.SourcedId】
11	terms	学期	1~多	学期の期間ID	年度SourcedId	termSourcedIds	○	対象年度の【AcademicSession.SourcedId】
12	subjects	教科	0~多	教科名。例: 化学	教科名	subjects		教科を指定する場合は、APPLICで定義されたコード「教科」のコードの内容(シート「Course」参照) APPLICで未定義の教科は、任意の文字列。 ※ 文部科学省教育データ標準で教科名が定まった場合は、参照先を変更する。

## Classes

13	subjectCodes	教科コード	0~多	地域に応じたコードを仕様	教科コード	subjectCodes		教科を指定する場合は、APPLICで定義されたコード「教科」 (シート「Course」参照) 教科コード未定義の教科は、項目自体を記載しない。 ※文部科学省教育データ標準で教科コードが定まった場合は、 参照先を変更する。
14	periods	時限	0~多	例：“1” もしくは “1,3,5” など	時限	periods		時限データの設定をする場合は、設定。
15	resoureces	教材	0~多	教材情報	-	-	-	-
16	-	-	-	-	特別支援学級フラグ	metadata.jp.specialNeeds		特別支援学級の場合「True」、その以外「False」



courses.csv

No	OneRoster v.1.2 データモデル 定義				OneRoster v.1.2 csv項目定義			
	データ属性名	和訳案	多重度	備考	日本語項目名	項目名	必須	備考
1	sourcedId	ソースID	1	(GUID)	ソースID	sourcedId	○	GUIDで自動採番
2	status	ステータス	0か1	active tobedeleted * Delta方式サポート時のみ必須	ステータス	status	*	Delta(差分)方式で出力する場合のみ出力 「tobedeleted」：削除対象 例) 過去年度または削除済のデータの場合 「active」：有効 例) 上記以外の場合
3	dateLastModified	最終更新日	0か1	最終更新日(ISO8601形式/UTC) 例:2018-04-23T18:25:43.511Z * Delta方式サポート時のみ必須	更新日時	dateLastModified	*	Delta(差分)方式で出力する際に条件にする日時 例) コース情報を、校務支援システム内に保持していなければ、 データ連携処理の最終実行日時 例) csvが出力された日時
4	schoolYear	年度	0か1	年度の期間ID(AcademicSession)	年度SourcedId	schoolYearSourcedId		対象年度の【AcademicSession.SourcedId】
5	title	課程名	1	例：化学	課程名	title	○	コースが識別できる名称を任意に設定。 例) 学籍クラスの場合は、 【AcademicSession.Title】+「ホームルーム」 授業に関するクラスの場合は、 【AcademicSession.Title】+ 教科名
6	courseCode	課程コード	1	例：CHEM101	課程コード	courseCode		空文字("")固定。
7	grades	学年	0～多	地域に応じた呼称を使用	学年	grades		学年が設定されるコースの場合は、APPLICで定義されたコード 「学年」（下記 参考①） ※ 義務教育学校、中等教育学校等には、小中学校、高等学校の学年コードを用いる。
8	org	組織	0か1	組織ID	団体SourcedId	orgSourcedId	○	対象団体の【Org.SourcedId】
9	subjects	教科	0～多	表示用の教科名	科目名	subjects		教科を指定する場合は、APPLICで定義されたコード「教科」の コードの内容（下記 参考②） APPLICで未定義の教科は、任意の文字列。 ※ 文科省のデータ標準が決まり次第、切り替える可能性あり
10	subjectCodes	教科コード	0～多	地域に応じた呼称を使用	科目コード	subjectCodes		教科を指定する場合は、APPLICで定義されたコード「教科」 （下記 参考②） APPLICで未定義の教科は、項目自体を記載しない。 ※ 文科省のデータ標準が決まり次第、切り替える可能性あり

参考①) APPLIC 学年コード

教育情報アプリケーションユニット標準仕様 校務基本情報データ連携 小中学校版 V1.2

コード辞書				版	
				教育情報アプリケーションユニット標準仕様 校務基本情報データ連携 小中学校版 V2.0	
項番	項目名	データ型	桁数	コード値	コード値の内容
1	性別	X	1	1 2	男 女
2	学年	X	2	P1 P2 P3 P4 P5 P6 J1 J2 J3	小学第1学年 小学第2学年 小学第3学年 小学第4学年 小学第5学年 小学第6学年 中学第1学年 中学第2学年 中学第3学年
3	業務ユニット番号	X	4	AK00 AK01 AK02	教育情報アプリケーションユニット小中学校版共通 学習者情報アプリケーションユニット 学校保健アプリケーションユニット

参考②) APPLIC 教科コード

教育情報アプリケーションユニット標準仕様 校務基本情報データ連携 小中学校版 V2.0

コード辞書				版		
				教育情報アプリケーションユニット標準仕様 校務基本情報データ連携 小中学校版 V2.0		
項番	項目名	データ型	桁数	コード値	コード値の内容	備考
1	指導要録種別	X	3	P01 J01	小学校、または、特別支援学校小学部児童指導要録 中学校、または、特別支援学校中学部生徒指導要録	平成23年度全面実施 平成24年度全面実施
2	教科名	X	4	P010 P020 P030 P040 P050 P060 P070 P080 P090 P100 J010 J020 J030 J040 J050 J060 J070 J080 J090	国語(小学) 社会(小学) 算数(小学) 理科(小学) 生活(小学) 音楽(小学) 図画工作(小学) 家庭(小学) 体育(小学) 外国語(小学) 国語(中学) 社会(中学) 数学(中学) 理科(中学) 音楽(中学) 美術(中学) 保健体育(中学) 技術・家庭(中学) 外国語(中学)	

demographics.csv

No	OneRoster v.1.2 データモデル 定義				csv項目定義 (v.1.2)			
	データ属性名	和訳案	多重度	備考	日本語項目名	項目名	必須	備考
1	sourcedId	ソースID	1	対象ユーザーの 【User.SourcedId】	ソースID	sourcedId	○	対象ユーザーの【User.SourcedId】
2	status	ステータス	0か1	active tobedeleted * Delta方式サポート時のみ必須	ステータス	status	*	Delta(差分)方式で出力する場合のみ出力 「tobedeleted」: 削除対象 例) 過去年度または削除済のデータの場合 「active」: 有効 例) 上記以外の場合
3	dateLastModified	最終更新日	0か1	最終更新日(ISO8601形式/UTC) 例:2018-04-23T18:25:43.511Z * Delta方式サポート時のみ必須	更新日時	dateLastModified	*	Delta(差分)方式で出力する際に条件にする日時 例) コース情報を、校務支援システム内に保持していなければ、 データ連携処理の最終実行日時 例) csvが出力された日時
4	birthDate	生年月日	0か1	例: 1998-04-01	生年月日	birthDate		生年月日
5	sex	性別	0か1	male, female, unspecified, other のいずれか	性別	sex		male, female, unspecified, other のいずれか
6	americanIndianOrAlaskaNative	アメリカインディアンまたはネイティブアラスカ	0か1	true か false	アメリカインディアンまたはネイティブアラスカ	americanIndianOrAlaskaNative		(使用を想定しない。)
7	asian	アジア人	0か1	true か false	アジア人	asian		(使用を想定しない。)
8	blackOrAfricanAmerican	黒人またはアフリカ系アメリカ人	0か1	true か false	黒人またはアフリカ系アメリカ人	blackOrAfricanAmerican		(使用を想定しない。)
9	nativeHawaiianOrOtherPacificIslander	ネイティブハワイまたは太平洋諸島人	0か1	true か false	ネイティブハワイまたは太平洋諸島人	nativeHawaiianOrOtherPacificIslander		(使用を想定しない。)
10	white	白人	0か1	true か false	白人	white		(使用を想定しない。)
11	demographicRaceTwoOrMoreRaces	二種以上の混血	0か1	true か false	二種以上の混血	demographicRaceTwoOrMoreRaces		(使用を想定しない。)
12	hispanicOrLatinoEthnicity	ヒスパニックまたはラテン系アメリカ人	0か1	true か false	ヒスパニックまたはラテン系アメリカ人	hispanicOrLatinoEthnicity		(使用を想定しない。)

## Demographics

13	countryOfBirthCode	出生国	0か1	以下のコードを使用 <a href="https://ceds.ed.gov/CEDSElementDetails.aspx?TermxTopicId=20002">https://ceds.ed.gov/CEDSElementDetails.aspx?TermxTopicId=20002</a>	出生国	countryOfBirthCode	(使用を想定しない。)
14	stateOfBirthAbbreviation	出生州	0か1	以下のコードを使用 <a href="https://ceds.ed.gov/CEDSElementDetails.aspx?TermxTopicId=20837">https://ceds.ed.gov/CEDSElementDetails.aspx?TermxTopicId=20837</a>	出生州	stateOfBirthAbbreviation	(使用を想定しない。)
15	cityOfBirth	出生市町村	0か1	文字列	出生市町村	cityOfBirth	(使用を想定しない。)
16	publicSchoolResidenceStatus	公立学区居住状態	0か1	通っている公立学校と居住場所との行政上の関係。以下のコードを使用 <a href="https://ceds.ed.gov/CEDSElementDetails.aspx?TermxTopicId=20863">https://ceds.ed.gov/CEDSElementDetails.aspx?TermxTopicId=20863</a>	公立学区居住状態	publicSchoolResidenceStatus	(使用を想定しない。)

enrollments.csv

No	OneRoster v.1.2 データモデル 定義				csv項目定義 (v.1.2)			
	データ属性名	和訳案	多重度	備考	日本語項目名	項目名	必須	備考
1	sourcedId	ソースID	1	(GUID)	ソースID	sourcedId	○	GUIDで自動採番
2	status	ステータス	0か1	active tobedeleted * Delta方式サポート時のみ必須	ステータス	status	*	Delta(差分)方式で出力する場合のみ出力 「tobedeleted」: 削除対象 例) 過去年度または削除済のデータの場合 「active」: 有効 例) 上記以外の場合
3	dateLastModified	最終更新日	0か1	最終更新日(ISO8601形式/UTC) 例:2018-04-23T18:25:43.511Z * Delta方式サポート時のみ必須	更新日時	dateLastModified	*	Delta(差分)方式で出力する際に条件にする日時 例) 校務支援システム上でユーザーの所属情報等のデータが更新された最終更新日時 例) csvが出力された日時
4	class	クラス	1	登録対象のクラスのID	クラスSourcedId	classSourcedId	○	対象クラスの【Class.SourcedId】
5	school	学校	1	学校の組織ID	学校SourcedId	schoolSourcedId	○	対象団体の【Org.SourcedId】
6	user	ユーザ	1	ユーザID	ユーザSourcedId	userSourcedId	○	対象ユーザの【User.SourcedId】
7	role	役割 (ロール)	1	クラスにおける役割。 [administrator / proctor / student / teacher] のいずれか。 拡張が可能。	役割 (ロール)	role	○	固定: 児童生徒: student 教職員: teacher 教職員以外のシステム管理者: administrator 試験監督官: proctor 保護者: guardian
8	primary	主教員	0か1	(教員のみ) 主担当の教員か否か。クラスに1教員のみ主教員に設定すること。	主教員フラグ	primary		固定: 児童生徒の場合「False」 教職員の場合 "homeroom"クラスと関連付けする場合 クラス担任の場合「True」 上記以外は「False」 "scheduled"クラスと関連付けする場合 主たる教科担任の場合「True」 上記以外は「False」
9	beginDate	開始日	0か1	例: 2012-04-23(*)	開始日	beginDate		所属の開始日 ※ v.1.0では未定義
10	endDate	終了日	0か1	例: 2013-03-31(*)	終了日	endDate		所属の終了日 ※ v.1.0では未定義
11	-	-	-	-	出席番号	metadata.jp.ShussekiNo		児童生徒の場合 対象クラスにおけるユーザーの出席番号 ※ 職員番号は出力しない
12	-	-	-	-	公開フラグ	metadata.jp.PublicFlg		公開可能な場合は「True」 非公開の場合は「False」

orgs.csv

No	OneRoster v.1.2 データモデル 定義				csv項目定義 (v.1.2)			
	データ属性名	和訳案	多重度	備考	日本語項目名	項目名	必須	備考
1	sourcedId	ソースID	1	(GUID)	ソースID	sourcedId	○	GUIDで自動採番
2	status	ステータス	0か1	active tobedeleted * Delta方式サポート時のみ必須	ステータス	status	*	Delta(差分)方式で出力する場合のみ出力 「tobedeleted」: 削除対象 例) 廃校等で削除された場合 「active」: 有効 (上記以外の場合)
3	dateLastModified	最終更新日	0か1	最終更新日(ISO8601形式/UTC) 例:2018-04-23T18:25:43.511Z * Delta方式サポート時のみ必須	更新日時	dateLastModified	*	Delta(差分)方式で出力する際に条件にする日時 例) 校務支援システム上で学校情報等のデータが更新された 最終更新日時 例) csvが出力された日時
4	name	組織名	1	例: IMS中学校	組織名	name	○	団体名 (教育委員会名、学校名) 学校・教育委員会コード一覧記載の名称が望ましい。 <a href="https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html">https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html</a>
5	type	組織種別	1	natinal: 国 state: 州 local: v1.0ではDistrictの識別に使用 district: 学校区 school: 学校 department: 学部	組織種別	type	○	固定: 教育委員会の場合「district」 学校の場合「school」
6	identifier	識別子	1	可読性のある識別子 (例. NCES ID)	組織ID	identifier		教育委員会: 文部科学省 教育委員会コード 学校: 文部科学省 学校コード (13桁) <a href="https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html">https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html</a>
7	parent	親組織	0か1	親組織の sourcedId	親組織	parentSourcedId		固定: 教育委員会の場合「NULL」 学校の場合、教育委員会sourcedIdを格納
8	children	子組織	0~多	子組織の sourcedId	-	-	-	-

roles.csv

No	OneRoster v.1.2 データモデル 定義				csv項目定義 (v.1.2)			
	データ属性名	和訳案	多重度	備考	日本語項目名	項目名	必須	備考
1	sourcedId	ソースID	1	(GUID)	ソースID	sourcedId	○	GUIDで自動採番
2	status	ステータス	0か1	active tobedeleted * Delta方式サポート時のみ必須	ステータス	status	*	Delta(差分)方式で出力する場合のみ出力 「tobedeleted」: 削除対象 例) 削除済のデータの場合 「active」: 有効 例) 上記以外の場合
3	dateLastModified	最終更新日	0か1	最終更新日(ISO8601形式/UTC) 例:2018-04-23T18:25:43.511Z * Delta方式サポート時のみ必須	更新日時	dateLastModified	*	Delta(差分)方式で出力する際に条件にする日時 例) 校務支援システム上でユーザー情報等のデータが更新された最終更新日時 例) csvが出力された日時
4	-	-	-	-	ユーザーソースID	userSourcedId	○	対象ユーザーの【User.SourcedId】
5	roleType	ロール種別	1	primary、secondaryのいずれか (1つの場合は必ずprimary)	ロール種別	roleType	○	primary、secondaryのいずれか (1つの場合は必ずprimary)
6	role	ロール	1	[aide / counselor / districtAdministrator / guardian / parent / principal / proctor / relative /siteAdministrator / student / systemAdministrator / teacher] のいずれか。拡張も可能。 ※ 各語句の定義は、OneRoster v.1.2 Rostering Service Information Modelの RoleEnumを参照	ロール	role	○	固定: 児童生徒「student」 教職員「teacher」(すべての役職を含む) 保護者「guardian」 学校長・教育長「principal」(teacherに付加する) 管理職(教育委員会)「districtAdministrator」 管理職(学校)「siteAdministrator」(teacherに付加する) システム管理者「systemAdministrator」 試験監督官「proctor」 その他の役割も使ってよい ※ 母親、父親も保護者として扱う
7	beginDate	開始日	0か1	役割が有効になる日	開始日	beginDate		役割の開始日 ISO8601形式 (YYYY-MM-DD)
8	endDate	終了日	0か1	役割が無効になる日	終了日	endDate		役割の終了日 ISO8601形式 (YYYY-MM-DD)
9	org	組織	1	この役割を有している組織	組織ソースID	orgSourcedId	○	対象団体の【Org.SourcedId】
10	userProfile	ユーザープロフィール	0か1	このプロフィールの認証方法を示す文字列。	ユーザープロフィールソースID	userProfileSourcedId		対象ユーザーの【UserProfile.SourcedId】



userProfiles.csv

No	OneRoster v.1.2 データモデル 定義				csv項目定義 (v.1.2)			
	データ属性名	和訳案	多重度	備考	日本語項目名	項目名	必須	備考
1	sourcedId	ソースID	1	(GUID)	ソースID	sourcedId	○	GUIDで自動採番
2	status	ステータス	0か1	active tobedeleted * Delta方式サポート時のみ必須	ステータス	status	*	Delta(差分)方式で出力する場合のみ出力 「tobedeleted」: 削除対象 例) 削除済のデータの場合 「active」: 有効 例) 上記以外の場合
3	dateLastModified	最終更新日	0か1	最終更新日(ISO8601形式/UTC) 例:2018-04-23T18:25:43.511Z * Delta方式サポート時のみ必須	更新日時	dateLastModified	*	Delta(差分)方式で出力する際に条件にする日時 例) 校務支援システム上でユーザー情報等のデータが更新された最終更新日時 例) csvが出力された日時
4					ユーザ名ID	userSourcedId	○	対象ユーザーの【User.SourcedId】
5	profileType	プロフィール種別	1	関連するシステム、アプリ、ツールにおける、このプロフィールの種類。可読性のある文字列であることが望ましい。	プロフィール種別	profileType	○	関連するシステム間で識別可能な任意の文字列。
6	venderID	ベンダーID	1	このプロフィールを利用するシステム、ツール、アプリ間で一意を取るベンダーID。(文字列)	ベンダーID	vendorId	○	ベンダーを一意で示す文字列。
7	applicationId	アプリケーションID	0か1	このアカウントに関連づくアプリケーションを一意に示すID(文字列)。 "default"で、このベンダーに関連するすべてのアプリケーションで共通利用するプロフィールであることを示す。	アプリケーションID	applicationId		このユーザーアカウントの発行元アプリケーションを示す文字列。
8	description	説明	0か1	このアカウントを説明する可読可能な文字列。セキュリティに関する情報を記載してはならない。	説明	description		任意の文字列
9	credentialType	認証種別	1	このプロフィールの認証方法を示す文字列。	認証種別	credentialType	○	認証方法を示す文字列
10	username	ユーザー名	1	このプロフィールのユーザー名	ユーザー名	username	○	このプロフィールのユーザー名
11	password	パスワード	0か1	このプロフィールのパスワード。暗号化/非暗号化は問わない。暗号化されている場合は、暗号方法を明示しなければならない。	パスワード	password		このプロフィールのパスワード



users.csv

No	OneRoster v.1.2 データモデル 定義				csv項目定義 (v.1.2)			
	データ属性名	和訳案	多重度	備考	日本語項目名	項目名	必須	備考
1	sourcedId	ソースID	1	(GUID)	ソースID	sourcedId	○	GUIDで自動採番
2	status	ステータス	0か1	active tobedeleted * Delta方式サポート時のみ必須	ステータス	status	*	Delta(差分)方式で出力する場合のみ出力 「tobedeleted」：削除対象 例) 削除済のデータの場合 「active」：有効 例) 上記以外の場合
3	dateLastModified	最終更新日	0か1	最終更新日(ISO8601形式/UTC) 例:2018-04-23T18:25:43.511Z * Delta方式サポート時のみ必須	更新日時	dateLastModified	*	Delta(差分)方式で出力する際に条件にする日時 例) 校務支援システム上でユーザー情報等のデータが更新された最終更新日時 例) csvが出力された日時
4	enabledUser	有効/無効	1	データは存在するが、システムへのアクセスを許可したくないユーザに対し、false(無効)を設定	有効フラグ	enabledUser	○	固定：「True」
5	username	ユーザ名	1	例：pjn@imglobal.org	ユーザ名	username	○	主となるIdpで発行するPrimaryのログインID/クラウドID ※ 主たるログインID/クラウドID等を所持していない場合はシステム内で用いる識別子等を用いる。
6	userIds	ユーザID	0~多	外部システムのユーザID。Active DirectoryのIDなど	外部ユーザID	userIds		その他アプリのIDで、{接頭辞:Id}とする 接頭辞の定義 校務：Koumu マイクロソフト：MS、グーグル：Google、アップル：Apple AD：AD 例) IDが1つの場合：“{LDAP:Id}” IDが複数の場合：“{LDAP:Id},{LTI:Id},{Fed:Id}”
7	givenName	名	1		名	givenName	○	通称氏名(名) ※ 外字が含まれる場合がある
8	familyName	姓	1		姓	familyName	○	通称氏名(姓) ※ 外字が含まれる場合がある
9	middleName	ミドルネーム	0か1		ミドルネーム	middleName		通称氏名(ミドル)
10	identifier	ID	0か1	例：9898-PJN	ID	identifier		文部科学省等で定義される、児童生徒ごとのユニバーサルIDを予約
11	email	メールアドレス	0か1		メールアドレス	email		任意に設定することも可。
12	sms	SMS番号	0か1		SMS番号	sms		任意に設定することも可。
13	phone	電話番号	0か1		電話番号	phone		任意に設定することも可。

14	agents	関係者	0~多	児童生徒のデータの場合は保護者のID 保護者のデータの場合は児童生徒のID	保護者	agentSourcedIds	保護者情報を連携している場合 児童生徒の場合 保護者の【User.SourcedId】 保護者の場合 児童生徒の【User.SourcedId】 その他の場合 任意に設定することも可。
15	grades	学年	0~多	CEDS(*)で定義された学年データ	学年	grades	学年が設定されるコースの場合は、当該年度のAPPLICで定義されたコード「学年」（シート「Course」参照） それ以外は、空文字("")固定。 ※文科省のデータ標準が決まり次第、切り替える可能性あり
16	password	パスワード	0か1	このプロファイルのパスワード。使用する場合は暗号化を推奨する。	パスワード	password	ユーザーのパスワード
17	userMasterIdentifier	ユーザー一意識別子	0か1	このユーザーのマスター一意識別子。ユーザーの「sourcedId」とは異なり、すべてのシステム識別子/アカウントなどを同じユーザーとして扱うようにするために使用する。この識別子の割り当て方法とその形式は仕様の範囲外とする。	ユーザー一意識別子	userMasterIdentifier	他のシステム間連携においてユーザーを一意に示すUUIDを予約。例えば、校務システムより一意の識別子が出力されることが想定される。その場合、受信側はそれをユーザー一意の識別子として取り扱わなければならない
18	resources		0~多	このユーザーが利用できる教材のIDのリスト	リソースソースID	resourceSourcedIds	Rosteringのみでは使用しない
19	preferredFirstName	名（通称）	0か1	ユーザーの希望する名。	表示名	preferredGivenName	画面に表示する氏名（名）※ 外字が含まれる場合がある
20	preferredMiddleName	ミドルネーム（通称）	0か1	ユーザーの希望するミドルネーム。	表示ミドルネーム	preferredMiddleName	画面に表示する氏名（ミドルネーム）
21	preferredLastName	氏（通称）	0か1	ユーザーの希望する姓。	表示氏	preferredFamilyName	画面に表示する氏名（氏）※ 外字が含まれる場合がある
22	primaryOrg	所属	0か1	ユーザーの組織ソースID	主組織ソースID	primaryOrgSourcedId	ユーザーが所属する主たる組織の【Org.SourcedId】
23	pronouns	代名詞	0か1	ユーザーに用いる代名詞。 例: she/her/her, he/him/his, they/them/theirs ze/hir/hir, xe/xir, または、（代名詞の代わりに用いる）呼称。	代名詞	pronouns	（使用を想定しない）
25	roles	役割	1~多	役割	-	-	-
25	userProfiles	ユーザープロファイル	0~多	ユーザープロファイル	-	-	-
26	-	-	-	-	フリガナ名	metadata.jp.kanaGivenName	通称氏名フリガナ(氏)
27	-	-	-	-	フリガナ姓	metadata.jp.kanaFamilyName	通称氏名フリガナ(名)
28	-	-	-	-	フリガナミドルネーム	metadata.jp.kanaMiddleName	通称氏名フリガナ(ミドル)
29	-	-	-	-	在籍クラス	metadata.jp.homeClass	主たるクラス（特別支援学級の児童生徒対応） 在籍するクラスの【Class.SourcedId】

※ ユーザーが所属する組織と組織における役割はOrgs.csvで、所属するクラスとクラスにおける役割はEnrollments.csvで定義される。

※ ユーザーのシステムやアプリケーションごとのアカウント（ユーザー名とパスワードのセット）は、UserProfiles.csvで定義される。